



各報道機関文教担当記者 殿

日独修好条約締結 150 周年記念 金大・角間で日独学术交流の菩提樹を植樹

金沢大学では、来年、創基150年を迎えること、日本とドイツがこれからも学術、文化等友好関係が末永く続くことを願ってドイツのシンボルの樹である菩提樹を植樹します。

これは、今年、プロイセン（ドイツ）が1861年に江戸幕府（日本）と日普修好通商条約（後の日独修好条約）を結んでから150周年を迎えるに当たり、ドイツは日本を第二の故郷とするドイツ連邦共和国大使フォルカー・シュタンツェル博士の発案で、ドイツから日本に150本の菩提樹の苗木を寄贈する事業が実施されています。この度、本学の楠根重和名誉教授（石川日独協会会長）が、この事業に応募したところ、菩提樹の苗木寄贈先に選定されました。

金沢大学はこの菩提樹が、角間の地で根を張り、日独学术交流を深める象徴として、育つことを願っています。

日独修好条約締結150周年記念菩提樹植樹式

日時 平成23年10月31（月） 9：30～
会場 金沢大学人間社会2号館南側庭園（角間キャンパス）
参加者 中村 信一 金沢大学長
 樫見由美子 金沢大学理事（教育担当）・副学長
 楠根 重和 金沢大学名誉教授 外

については、当日の取材報道について、よろしくお願いたします。

担当：広報戦略室 松本
Tel：076-264-5024